令和６年３月29日

西伊豆町長　星野　淨晋　様

西伊豆町立文教施設等整備委員会
委員長　　島田　桂吾

西伊豆町立認定こども園整備計画候補地の選定について（答申）

令和５年12月15日付け西教学第381号で諮問のありました標記の件につきまして、審議した結果、別紙報告書のとおり答申いたします。

認定こども園候補地選定報告書

（答申）

令和6年3月

西伊豆町立文教施設等整備委員会

－ 目 次

１ 認定こども園候補地選定条件 … P1

２ 候補地選定の検討経緯 … P2

３ 第一候補地 … P3

　ア 提案する第一候補地

　イ 選定理由と懸念事項

　ウ 付帯意見

４ 第二候補地 … P4～5

【補足資料】

- 西伊豆町立文教施設等整備委員会設置規則
- 西伊豆町立文教施設等整備委員会名簿
- 認定こども園候補地
- 認定こども園用地候補地状況整理シート
- 西伊豆町立文教施設等整備委員会 開催状況

西伊豆町立文教施設等整備委員会設置規則に基づき設置された本委員会において、新たに設置予定の認定こども園の用地について最終候補地を検討した。

認定こども園候補地については、令和5年10月に「認定こども園のあり方を考えるワークショップ」で提案された6カ所の候補地の内から、認定こども園用地として適する場所を判断する条件として、次のとおり選定した。

1　認定こども園候補地選定条件

認定こども園候補地を検討するにあたり、次の条件に合った場所をそれぞれ候補地として選定した。

【選定条件】

1．自然災害リスクが低い立地であること。
2．保育環境に適した立地であること。
3．なるべく早く建設できる可能性が高い立地であること。

2 候補地選定の検討経緯

（1）候補地の整理

候補地を選定するにあたって、「認定こども園のあり方を考えるワークショップ」から提案された6カ所について現地視察を行い、自然災害リスク等について状況を整理した（表1）。

表1 認定こども園候補地

	候補地	地区	敷地区分	敷地面積	標高	災害リスク				国立公園	文化財	候補地からの時間・距離				摘要
						津波	浸水	急傾斜	土石流			宇久須	安良里	田子	宮ケ原	
1	中田避難地付近（安良里）	安良里	民地	南側 3,400㎡ 北側 1,900㎡	13.0m	－	－	－	警戒			7分 3.3km	3分 800m	7分 3.8km	32分 21.0km	過去に内諾を得た経緯あり
2	田子小学校	田子	町有地	グラウンド 約 2,000㎡	21.6m	－	－	警戒	警戒			13分 7.0km	8分 4.1km	2分 550m	28分 17.7km	S51.7.11伊豆南部集中豪雨により裏山で土砂崩れ発生
3	旧洋ランセンター跡地	堂ヶ島	町有地	中 約1,300㎡ 右 約3,000㎡	74.3m	－	－	－	一部警戒	第２種	第１種	12分 7.6km	8分 4.8km	4分 1.7km	25分 16.1km	H29の調査において、擁壁が現在の構造基準を満たしていないことが判明している。
4	らん里駐車場跡	堂ヶ島	民地	上段 約2,300㎡ 下段 約1,800㎡	21.0m	－	－	－	一部警戒	第２種	第１種	14分 9.0km	10分 6.2km	6分 3.1km	24分 15.0km	過去に用地交渉を行ったが売買には応じていただけなかった。
5	旧西伊豆中学校跡地	仁科	町有地	約 7,000㎡	5.5m	3.0m 未満	5.0m 未満	警戒	警戒			19分 11.5km	14分 8.7km	12分 6.2km	19分 12.6km	造成費用が高額。
6	先川	仁科	民地	約 5,000㎡	7.0m	－	5.0m 未満	－	－			20分 12.0km	15分 9.2km	13分 6.6km	18分 12.0km	農業振興地域であり、現在は認定農業者が事業拡大をしているため、場所によっては青地除外の手続きが厳しいと思われる。

※ 標高はスーパー地形アプリから取得した参考数値
※ 災害リスクはハザードマップから取得した参考数値
※ 候補地からの距離・時間はGoogle mapから取得したバス停からの参考数値

地区	宇久須	安良里	田子	仁科	中	一色	大沢里	計
園児数	9	6	17	40	5	2	3	82
割合	11.0%	7.3%	20.7%	48.8%	6.1%	2.4%	3.7%	100%

（2）候補地の絞り込み

各候補地について、事務局が保有する自然災害リスク等に関わる資料等を参照した上で、①メリット、②デメリット、③疑問点や課題を「状況整理シート」（補足資料）としてまとめた。

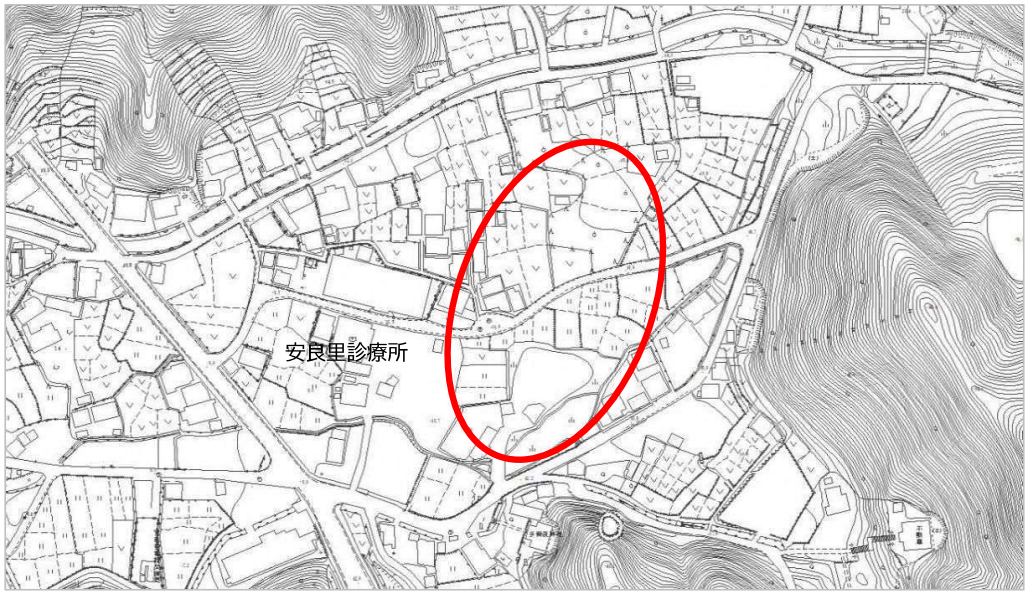
その上で、「らん里駐車場跡」及び「先川地区」は土地の購入に目処がたたないこと、また、「旧洋らんセンター」は過去に小学校の候補地として検討した際に懸念された安全性が改善されていないことから、候補地として検討しないこととした。

したがって、「中田避難地付近（安良里地区）」、「田子小学校」及び「旧西伊豆中学校跡地」について、委員による協議によって候補地の順位を決定することとした。

3 第一候補地

ア 提案する第一候補地　中田避難地付近（安良里地区）

以下のように、本委員会で民地であり、かつ人口集中地区からは遠いことが課題として挙げられたが、自然災害リスクがもっとも低いと判断されたため、第一候補として選定することとした。



イ 選定理由と懸念事項

（ア） 土石流の警戒区域ではあるものの、津波浸水想定区域外かつ急傾斜地からも離れているため、相対的に自然災害リスクが低く、安全性が高いと考えられる。

（イ） 人口が少ない地域ではあるものの、駐車場の整備や園バスの活用をするなどの工夫を行うことが可能である。また、町立図書館や診療所からも近く、環境を活かしたこども園を設計することが可能である。

（ウ） 民地であるため土地の購入が必要であるものの、地区ではこども園建設に前向きな姿勢が示されている。ただし、町民の避難場所など、まちづくりの観点からも複合的な機能を有するこども園の設計が求められている。

ウ 付帯意見

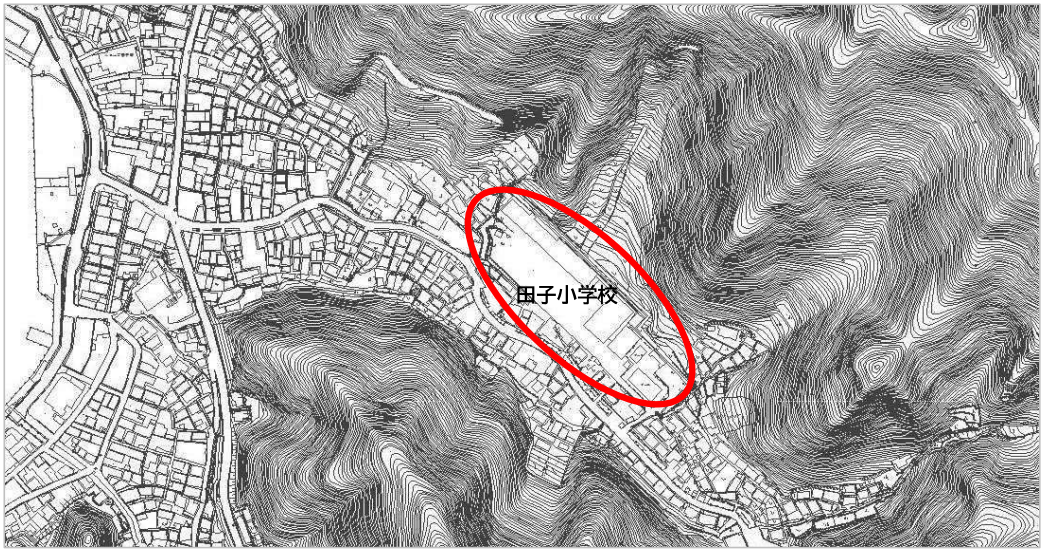
（ア） 子どもだけでなく町民の避難地としても活用できる機能を検討すること。

（イ） なるべく早く設計ができるように早急に議論を開始すること。ただし、子どもの健やかな成長と安全を最優先にした保育環境を検討すること。

3 第二候補地

ア 提案する第二候補地①　田子小学校（田子地区）

以下のように、本委員会では高台にあり、かつ既存の施設を活用できるという利点として挙げられたが、自然災害リスクへの懸念が払拭されるまでに至らなかったため、第二候補として選定することとした。



イ 選定理由と懸念事項

（ア） 高台にあることから津波のリスクがない。ただ、急傾斜地が隣接していること、災害時における水の確保等を懸念する意見が出され、自然災害リスクに対する意見が集約されなかった。

（イ） 長年にわたり小学校として活用してきており、芝生の校庭も含めてこども園用に改修することで保育環境を整備することができる。また、町民の避難場所など、まちづくりの観点からも複合施設としての活用も可能である。

（ウ） 町有地であるため土地の購入の必要はないが、認定こども園に合わせた大規模改修計画を検討する必要がある。また、土砂災害等への災害リスクへの対応もあわせて検討する必要がある。

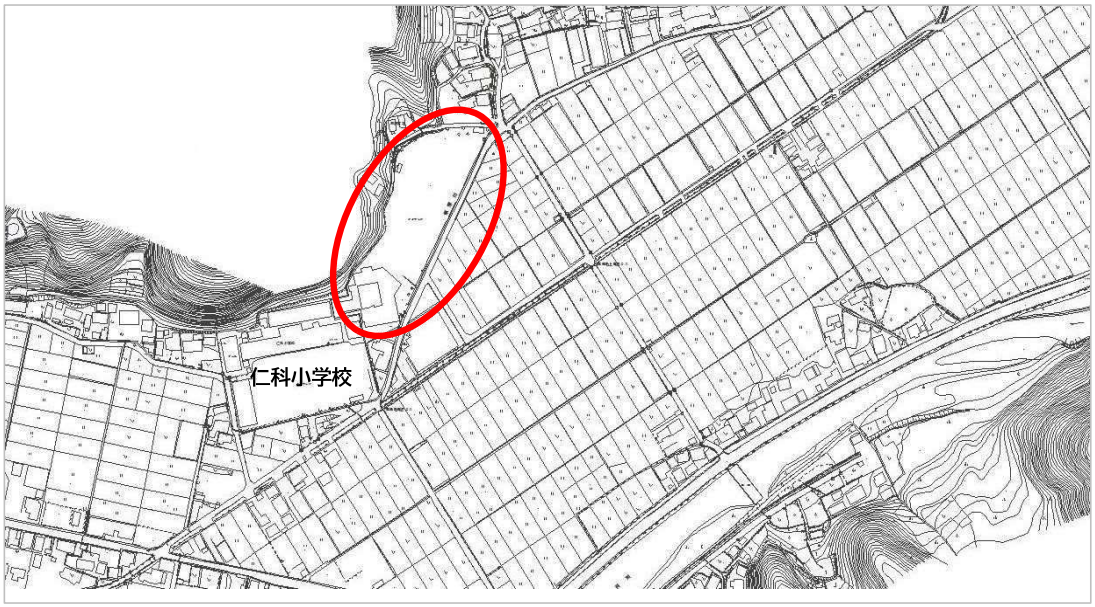
（エ）令和6年元日に発生した能登半島沖地震を教訓とし、急傾斜地の崩壊や道路沿線家屋の倒壊による道路の寸断が懸念される。

ウ 付帯意見

（ア） 急傾斜地への対応として、既存校舎ではなく候補地内に新たに施設を建設する方法も考えられるが、地盤等の状況を含めて専門的な知見を踏まえて検討すること。

ア　提案する第二候補地②　旧西伊豆中学校跡地（仁科地区）

以下のように、本委員会では人口が集中している地区に存在することを利点として挙げられたが、自然災害リスクへの懸念が払拭されるまでに至らなかったため、第二候補として選定することとした。



イ　選定理由と懸念事項

（ア）　津波浸水想定区域内に位置しているが、建物の設計を工夫することで津波から子どもたちを守ることができる可能性はあると考えられる。ただ、津波のリスクを懸念する意見も多く、自然災害リスクに対する意見が集約されなかった。

（イ）　人口が最も多い地域であり、アクセスがしやすい。また、仁科小学校と隣接しており、環境を活かしたこども園を設計することが可能である。

（ウ）　町有地かつ更地であるため、こども園の設計の検討から開始することができる。ただし、津波等の自然災害リスクに対する意見が集約されなかったことから、町民の理解を得るためには時間を要することが予想される。

ウ　付帯意見

（ア）　他自治体での津波浸水想定区域にあるこども園等の建築構造の情報を収集・分析し、津波への対策の在り方を検討すること。

（イ）　人口が集中する仁科地区にあるため、まちづくりの観点からも有効な活用方策を検討すること。

補 足 資 料

（令和5年11月24日から令和6年2月28日までの間に開催した
西伊豆町立文教施設等整備委員会で使用した資料）

- 西伊豆町立文教施設等整備委員会規則 … 資1～2
- 西伊豆町立文教施設等整備委員会名簿 … 資3
- 認定こども園用地候補地 … 資4
- 認定こども園用地候補地状況整理シート … 資5～16
- 西伊豆町立文教施設等整備委員会　開催状況 … 資17

○西伊豆町立文教施設等整備委員会規則

平成17年４月１日
教委規則第10号

（設置）

第１条　西伊豆町立文教施設等の建設・改築及び総合活用の円滑化を図り、もって生涯教育の向上を期するため、西伊豆町立文教施設等整備委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

（所掌事項）

第２条　委員会は、西伊豆町立文教施設等の建設・改築及び総合活用に関する事項について調査・研究し、町長からの諮問に応じて答申するものとする。

（組織）

第３条　委員会は、次の内から20人以内で組織する。

２　委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

（１）教育委員会の推薦する者

（２）区長連絡協議会の推薦する者

（３）保護者

（４）学識経験者

（任期）

第４条　委員の任期は、委嘱された日から委嘱の日の属する年度の翌年度の年度末までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

２　委員は、再任することを妨げない。

（委員長及び副委員長）

第５条　委員会に委員長及び副委員長各１人を置く。

２　委員長及び副委員長は、委員が互選する。

３　委員長は、会務を総理し、副委員長は委員長を補佐する。

４　委員長に事故があるとき、又は欠けたときは副委員長がその職務を代理する。

（会議）

第６条　委員会は、委員長が招集する。

２　委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開き議決を行うことができない。

３　委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

（庶務）

第７条　委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（その他）

第８条　この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は教育委員会が定める。

附　則

この規則は、平成17年４月１日から施行する。

附　則（平成21年３月17日教委規則第２号）

この規則は、平成21年４月１日から施行する。

附　則（平成23年12月１日教委規則第２号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成26年５月15日教委規則第１号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成31年４月24日教委規則第３号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（令和４年８月22日教委規則第２号）

この規則は、公布の日から施行する。

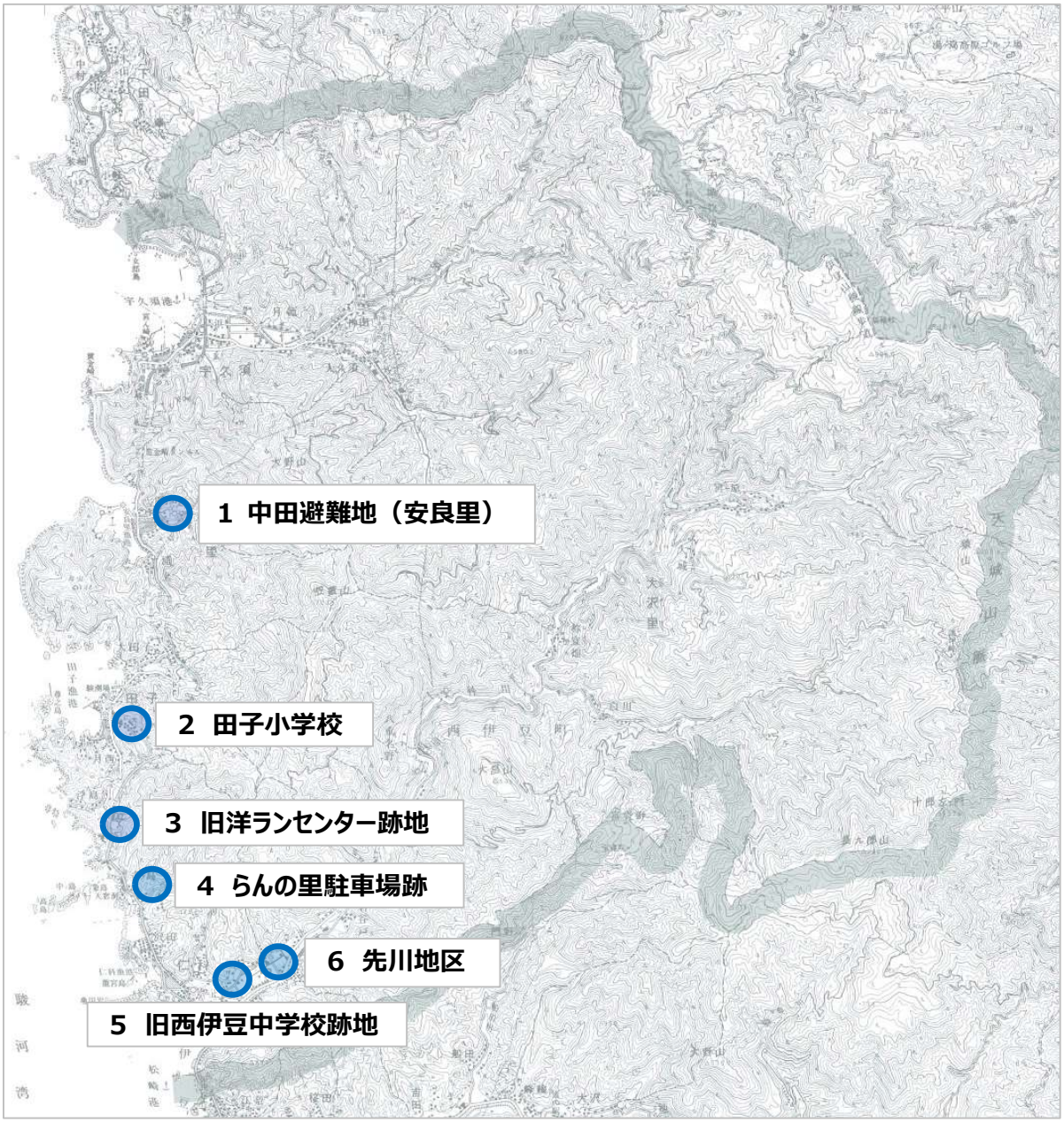
西伊豆町立文教施設等整備委員会 委員名簿

No.	分類	役 職 等	氏　名
1	区長連絡協議会の推薦する者	仁科区長会長	高 井　　廣
2	区長連絡協議会の推薦する者	田子区長会長	生 田　繁 善
3	区長連絡協議会の推薦する者	安良里自治会長	藤 井　文 憲
4	区長連絡協議会の推薦する者	宇久須区長代表	浅 賀　丈 吉
5	保護者	仁科地区代表	窪田　いづみ
6	保護者	田子地区代表	花田　麻莉子
7	保護者	安良里地区代表	中 平　阿 美
8	保護者	宇久須地区代表	山 本　　諭
9	学識経験者	静岡大学教育学部 准教授	島 田　桂 吾
10	学識経験者	仁科女性会 会長	金 刺　和 子
11	学識経験者	安良里女性会 会長	藤 井　節 子
12	学識経験者	教育委員経験者	藤 井　定 男
13	学識経験者	教育委員経験者	山本　久美子
14	教育委員会の推薦する者	仁科認定こども園 園長	齋 藤　雅 子
15	教育委員会の推薦する者	伊豆海認定こども園 園長	山 本　美 生
16	教育委員会の推薦する者	仁科小学校 校長	渡 邉　篤 之
17	教育委員会の推薦する者	西伊豆中学校 校長	土 屋　有 一

西伊豆町立文教施設等整備委員会　オブザーバー

No.	分類	役　　職　　等	氏　　名
1	教育委員会の推薦する者	田子小学校 校長	山 本　憶 久
2	教育委員会の推薦する者	賀茂小学校 校長	鈴木　ゆきみ

認定こども園用地候補地



認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地１　中田避難地付近（安良里）

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
1 防災・防犯	津　　波	なし	・津波浸水想定区域外である ・急傾斜地ではない ・住宅地なので人目が届きやすい		・用地取得が必要となる ・津波対策として低いのではないか	
	水　　害	なし				
	土砂災害	土石流警戒				
	防　　犯	周囲に民家があり地域の目が届く				
2 土地利用	整備面積	南側 1,650㎡ 北側 2,100㎡	・平坦地	・少し狭い ・建物、園庭を考えるとスペースが十分でないのでは ・道路で分断されている	・畑があるがつなげて買収したらよいのではないか（畑の持ち主も高齢に当たり耕作が大変になってきたと話している）	
	地形・ 整地形状	不整形				
3 保育・教育環境	周辺状況	日当たり良好	・十分な広さ ・静かで良い保育環境	・裏山が採石場となっている		・採石場からは山を隔てており、大きな音が直接届くことは少ないと思われる
	保育活動の しやすさ	自然豊富				
4 アクセス （利便性、安全性）	道路幅員	4.1ｍ	・幹線道路に近い ・交通の便が良い ・賀茂小中に近く、兄弟関係があればアクセスしやすい ・周辺道路の幅が狭いが、そんなに支障はないように思われる	・ダンプトラックの通行が通年であれば危険 ・採石場の大型トラックが近くを走行する ・大沢里から32分かかる ・幹線道路からのアクセス道が細く、保護者の送迎が困難 ・徒歩圏内で利用できる子供がほとんどいない	・国道が近いので子供が外に出たとき、安全面が心配 ・駐車場ができるのか ・遠方の園児用に園バスがでるのか ・安良里診療所に来る車両で混雑することがあり、進入路の確保が必要では	・進入口の候補は複数個所考えられ、ダンプの通行を避けることも検討可能
	通園バス	運行方法に工夫が必要				

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地１　中田避難地付近（安良里）

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
5 用地・建設（経済性、実現可能性）	設計・工事費の他に必要となる経費	用地測量費 用地取得費		・用地取得が必要 ・民有地	・R4当時に5.3億の建設費に対する物価高騰、 土地取得費、 造成費 進入路整備費等	・土地の取得が必要となるため、取得費用やそれに伴う交渉の時間が必要
	工事中周辺への影響	民家に近く安全対策が必要				
	移転時期の短縮					
6 地域性	地域との関わり		・診療所が近く保護者の安心感がある ・安良里住民の大部分の避難地であるため、こども園がコミュニティセンターとなるであろう		・近くに病院があり子供の声が騒音になってしまうのではないか	・隣接でなく、騒音の心配は少ない
	合意形成のしやすさ					・安良里地区には、H30まで賀茂幼稚園があったことから、認定こども園に対する理解は得られる
7 その他	まちづくりの視点					

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地２　田子小学校

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
1 防災・防犯	津　　波	なし	・津波浸水想定区域外である	・裏山が危険（土砂崩れ） ・傾斜地である	・裏山の補強は可能か ・補強するより、危険性がある場所は避けた方がよい ・裏山から水が出ていたことがある。いつ土砂崩れになってもおかしくないのでは ・土砂を止めるために校舎を残すのは変では	・現状と同じように、１階を使用しない等の対策
	水　　害	なし				
	土砂災害	急傾斜・土石流警戒				
	防　　犯	周囲に民家があり地域の目が届く				
2 土地利用	整備面積	グラウンド 約2,000㎡	・体育館や校舎は多目的活用のため残存させるべきと考える ・町有地	・駐車場が少ない	・地盤がもつのか ・広さは十分か	・駐車場はプールを解体すれば、確保可能と思われる
	地形・ 整地形状	整形				
3 保育・教育環境	周辺状況	冬：日当たり悪い	・グランドも芝生で、保育する環境としては最適			・11月～12月は午後から日陰になるが、午前中は日が当たっている
	保育活動のしやすさ	自然豊富				
4 アクセス（利便性、安全性）	道路幅員	進入路付近 3.5m		・取付道路が細く、保護者の送迎が困難 ・周辺道路が狭く、スクールバス等の運行に支障がある。 ・周辺道路の拡幅が必要	・過去にも職員が接触事故等を起こしたことがある ・通園時の交通渋滞解消対策が必要 ・ルールづくりだけでは無理があるのでは	・プール周辺の進入路は、幼稚園バス程度の大きさであれば通行は可能とのこと
	通園バス	運行方法に工夫が必要				

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地２　田子小学校

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
５ 用地・建設（経済性、実現可能性）	設計・工事費の他に必要となる経費	プールの解体費 法面点検費	・給食施設やプールをなくして、建物や駐車場を設置できるのではないか	・設備面積の不足	・進入路整備費等 ・地盤調査費	・校舎の修繕が高額になる場合は、運動場に園舎を建てることも検討できる
	工事中周辺への影響	民家が近く安全対策が必要				
	移転時期の短縮	用地取得の必要がないため短縮可能				
６ 地域性	地域との関わり		・田子の避難所になる ・地域とかかわりが持てる			・現在も子どもがいる施設のため、近隣住民の理解は得られるのでは。
	合意形成のしやすさ					
７ その他	まちづくりの視点				・老朽化した施設と新園舎の併設が臨時的な処置に感じる。	

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地３　旧洋ランセンター跡地

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
1 防災・防犯	津　　波	なし	・津波浸水想定区域外である	・野生生物の危険が未知である ・地盤の弱さ ・土砂崩れの可能性 ・人里から離れていて不審者の侵入があると、園だけの対応になってしまう ・道路から高い位置に平地があるため人の目が行き届かない	・過去に大雨で国道136号及び町道まで土砂が流出したことがある。	
	水　　害	なし				
	土砂災害	土石流一部警戒				
	防　　犯	人目につきにくい場所である				
2 土地利用	整備面積	中 約1,300㎡ 右 約3,000㎡	・ロケーションは良い ・町有地	・盛土が深く危険ではないか ・地盤の弱さ ・盛土が25mで擁壁が想像基準を満たしていないところは危険	・以前の小中学校統合時に埋立地なので建設が無理とされた ・一度「危険な場所」として建設を断念している経緯から町民（保護者）から理解を得るのは難しい ・盛土を掘り下げ国道と同じレベルになれば見通しがよくなる	
	地形・ 整地形状	整形				
3 保育・教育環境	周辺状況	周辺に民家等がない	・面積が広く、子供たちの遊び場としては良い	・安全性が低い ・孤立した場所である		
	保育活動のしやすさ	地域との関りを持つことは難しい				

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地３　旧洋ランセンター跡地

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
4 アクセス（利便性、安全性）	道路幅員	5.5m	・国道に面していて通園によい	・バス利用が必要不可欠となるため、その分の交通事故等リスクが伴う		
	通園バス	問題なし				
5 用地・建設（経済性、実現可能性）	設計・工事費の他に必要となる経費	既存構造物の改修費	・町有地	・工事費が高額 ・擁壁だけではなく、進入路の改修も必要	・R4当時に5.3億の建設費に対する物価高騰、 土地取得費、 造成費 進入路整備費等 擁壁の改修費用	
	工事中周辺への影響	問題なし				
	移転時期の短縮	既存構造物等の改修に時間を要す				
6 地域性	地域との関わり		・避難地になる	・地域とのかかわりが持てない	・同時に高齢者施設等をつくり交流していくことはできるのか	
	合意形成のしやすさ					
7 その他	まちづくりの視点					

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地４　らん里駐車場跡

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
1 防災・防犯	津　　波	なし	・津波浸水想定区域外である ・ホテルも近く働く人も多い。先生以外の手を借りる事もできそう	・観光地であるため監視カメラ設置など安全面への配慮をする必要がある		・防犯カメラの設置、警察による巡回等の対策が可能か
	水　　害	なし				
	土砂災害	土石流一部警戒				
	防　　犯	人目につきにくい場所である				
2 土地利用	整備面積	上段 約2,300㎡ 下段 約1,800㎡	・景色がいい	・狭い ・こども園は一日でも早い建設を望むことから、用地取得に時間が掛かるような土地は相応しくない	・土地の確保が困難ではないか ・用地買収の可能性がないなら除外すべき	・用地の取得は代替地の用意が必要であり困難
	地形・ 整地形状	不整形 高低差あり				
3 保育・教育環境	周辺状況	観光地		・安全性が低い ・散歩が難しい		
	保育活動のしやすさ	地域との関りを持つことは難しい				
4 アクセス（利便性、安全性）	道路幅員	5.4m	・病院との距離も近い	・連休時に渋滞の可能性がある		
	通園バス	問題なし				

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地４　らん里駐車場跡

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
５ 用地・建設（経済性、実現可能性）	設計・工事費の他に必要となる経費	用地測量費 用地取得費			・R4当時に5.3億の建設費に対する物価高騰、 土地取得費、 造成費 進入路整備費等	
	工事中周辺への影響	観光地のため周辺の安全確保等対策が必要				
	移転時期の短縮					
６ 地域性	地域との関わり			・観光地 ・住民の目が少ない		
	合意形成のしやすさ					
７ その他	まちづくりの視点					

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地５　旧西伊豆中学校跡地

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
1 防災・防犯	津　　波	3.0m未満	・近隣に学校や民家があり人の目が行き届く	・盛土をしなければならない ・裏山の山崩れ ・津波の心配（利便性は高いが浸水想定区域を選択すべきではない） ・津波浸水想定区域内であるため、候補に入れる必要はない	・避難場所の安全性について再確認したい ・利便性は高いが津波浸水想定区域を選択すべきではない ・園舎を建てる位置を工夫すれば実現可能か	・１階部分をピロティ構造にするなどの対策が必要
	水　　害	5.0m未満				
	土砂災害	急傾斜・土石流警戒				
	防　　犯	学校が隣接しており、人の目が届く				
2 土地利用	整備面積	約7,000㎡	・町有地 ・造成費用がかかっても広さ、保護者の勤務先からの便利さはとても良い ・もともと学校があった土地なので広さは申し分ない		・建てられない場所なら候補地から外してほしい ・もともとの予定地であり課題解決できれば望ましい場所	・こども園だけであれば建設ができるかも
	地形・ 整地形状	不整形				
3 保育・教育環境	周辺状況		・保育をするには良い環境 ・小学校と隣接していて、連携ができる ・田んぼ等も近い	・安全性が低い		
	保育活動のしやすさ					
4 アクセス（利便性、安全性）	道路幅員	小学校前道路 3.5m	・交通の便が良い ・通園時間が大沢里からも、宇久須からも同じ程度	・周辺道路が狭い ・送迎時に混雑が生じる		・仮設道路を町道として整備することで解消は可能
	通園バス					

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地５　旧西伊豆中学校跡地

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
５ 用地・建設（経済性、実現可能性）	設計・工事費の他に必要となる経費		・取付道路があるから建設が容易になるのではないか	・盛土する場合、時間・費用がかかるのでは	・R4当時に5.3億の建設費に対する物価高騰、 土地取得費、 造成費 進入路整備費等	・通園に係る費用等は抑えられる
	工事中周辺への影響	隣の仁科小児童への安全対策が必要				
	移転時期の短縮	用地取得の必要がないため短縮可能				
６ 地域性	地域との関わり		・仁科の避難場所となる ・子どもが最も多い地域（多くすんでいる安心感） ・病院が近く保護者も安心感が強い		・地域の方も子どもたちがいることに慣れているのではないか	・複合施設として整備も考えられる
	合意形成のしやすさ					
７ その他	まちづくりの視点					

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地６　先川地区

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
１ 防災・防犯	津　　波	なし	・津波浸水想定区域外である ・急傾斜地ではない		・１階でも浸水想定区域外となるか	
	水　　害	5.0m未満				
	土砂災害	なし				
	防　　犯					
２ 土地利用	整備面積		・平らな土地で県道にも近く工事がしやすい	・こども園は一日でも早い建設を望むことから、用地取得に時間が掛かるような土地は相応しくない	・土地の確保が困難ではないか ・青地除外が必要 一度反対意見が出た場所を候補地として挙げてよいのか ・一貫校ほどの広さはいらないので、青地除外以外の場所で、この近辺は可能か	
	地形・ 整地形状	整形				
３ 保育・教育環境	周辺状況	農地	・穏やかな環境			
	保育活動のしやすさ					
４ アクセス（利便性、安全性）	道路幅員	3.6m				
	通園バス					

認定こども園用地候補地　状況整理シート

■候補地６　先川地区

項目	評価視点	候補地データ	①メリット	②デメリット	③疑問点や課題	解決策・対策
５ 用地・建設（経済性、実現可能性）	設計・工事費の他に必要となる経費	青地除外手続き 用地取得費			・R4当時に5.3億の建設費に対する物価高騰、 土地取得費、 造成費 進入路整備費等	
	工事中周辺への影響	地域住民は迂回する必要がある 農業者への配慮が必要				
	移転時期の短縮	青地除外手続きが必要となるため、用地取得までに時間を要す				
６ 地域性	地域との関わり					
	合意形成のしやすさ					
７ その他	まちづくりの視点		・課題解決できれば望ましい場所		・話し合いの余地なし ・話し合いが進まないのであれば候補地から外してほしい ・総合的には高評価だが	・農業地域計画の策定に向けて協議中

西伊豆町立文教施設等整備委員会開催状況

会議等日時		内　容
第１回	令和５年11月24日（金） 19：00～20：20	・認定こども園のあり方を考えるワークショップの経過報告について ・今後のスケジュールについて
候補地視　察	令和５年12月15日（金） 13：00～15：20	・候補地６箇所の現地視察
第２回	令和５年12月15日（金） 19：00～20：35	・諮問書について（報告） ・候補地の説明 ・意見交換
第３回	令和６年１月19日（金） 19：00～20：45	・候補地状況整理シートについて ・評価基準について
第４回	令和６年２月８日（木） 19：00～21：00	・候補地の選定方法について
第５回	令和６年２月28日（水） 19：00～21：10	・候補地の選定方法について ・候補地の選定